

NHK テレビ・ニュース：New World Order 陰謀団の

宣戦布告

2020/12/10

Greatchain

昨夜（12/09）NHK テレビの午後7時のニュースで、今、アメリカの大統領選挙で争いの起きている選挙不正の問題で、アメリカ最高裁から決断が下され、トランプ大統領は認められず、バイデン氏が次期大統領として正式に決定した、という内容のニュースがあった。これは世紀の大ペテンと言うべきプロパガンダを狙ったニュースである。そして我々全員への宣戦布告である。

まず、インターネットの米選挙関係のニュースで、画面右側にずらりと出てくる窓をご覧になるとよい。そのほとんどが、米選挙の大規模で悪質な選挙詐欺の告発で、埋め尽くされている。それは怒りの大爆発であり、「ストップ・ザ・スチール」（投票詐取をやめよ）の大合唱である。そしてそれは、真実を知ったアメリカ人民の、トランプ大統領とトランプ・チームの不屈の戦いに対する、歴史上かつてなかった大声援である。

中でもこの選挙詐欺は、「ドミニオン」という名の、巧妙な投票機械を使ったものであり、これが特に、激戦州とされるアメリカの州で用いられ、必ずバイデンが勝ち、トランプが負けるように操作されていた。しかし、それだけでなく、そもそも数値としてあり得ないような「馬鹿々々しい」票数が、バイデンのものとして確定していた。

バイデンの民主党を中心とする、この犯罪者一派は、まさにこの時期を狙って、イチかバチかの大芝居を打って出たものと考えられる。NHK がこれほどの歴然とした、悪質なニュースで視聴者を騙したのも、歴史的に初めてではなかろうか。我々が完全に、「悪」の世界に騙されて生きていることが、今度こそわかったであろう。

では彼らが、どういうニュースを作って、我々を騙したのかを説明しよう。米最高裁が正式に判決を下して、バイデンの勝ちとしたという、このニュースは、本当はこういうものだった。それはアレックス・ジョーンズの Infowars に出ているもので、まず大見出しに、「最高裁判所は、ペンシルベニアにおけるバイデンの勝利を、差し止めようとする、トランプ側の訴えを拒否した」とある。

そしてその説明として言っている――

米最高裁判所は、水曜日、上院議員マイク・ケリー（共・ペンシルベニア）の、当裁判所に要求した、2020 選挙のペンシルベニアの投票を、調査することを求める提訴を拒否した。

米最高裁が何かをトランプ側に拒否したことは、その通りである。しかしそれは、トランプ・チームの訴えを全面的に否定し、バイデンの大統領就任を正式に認めたという話ではない。それは一議員が、ペンシルベニアの投票の不正が、あまりにもひどいので、米最高裁がこれを直接調査するように訴えたが、これは拒否された、ということにすぎない。これはペンシルベニア州での話であり、しかも、最高裁がある行動を差し控えたということであって、大統領への就任を認めるとか、認めないとかいうことではない。

しかし、いずれにせよこれは、地球的な巨悪が、今までの秘密行動を捨てて、堂々と動き出していることを証明する事件である。これは単にアメリカだけの話ではない。それは篡奪者が、正当な主権を持つ者を追い出して、自分がそこに立とうとする、劇的なドラマとして考えることができる。それは善と悪の闘争であって、単なる政治勢力の争いではない。今やっと、そのことにアメリカの民衆が気づき始めた。もしバイデン政権がまともに動き出したとしたら、それは、我々の知っているすべての共産主義の悪を、集めたものになるだろう。

現在、具体的な気掛かりは、ウィリアム・バー司法長官である。彼は、この見え見えの選挙犯罪を認めず、トランプ大統領に背いたとして、辞任しようとしているというが、これは非常に不自然な話である。自分の過ちに気づけばそれで済むことなのに、そうはいかない理由があるらしい。考えられるのは、ただ一つ、彼が何か非常に恐ろしいものに脅迫されているという想定である。その恐ろしいものとは、たった今、我々の目の前で、メディアを使って、人を食った大芝居をやってみせた、絶大な力をもつ者たちであろう。その脅迫が、バー氏以外の要人にも及んで、この選挙を苦しめているのではないか、不安である。トランプに次いで、「泥沼掃除」を担当する最有力の候補は、バー長官であろう。いずれにしても、トランプ大統領と我々が、結束して、即刻、何かを思い切ってやらねばならないだろう。これは宣戦布告である。我々は受けて立とうではないか！

たった今、NeonNettle にこの記事が入った：――

Jim Jordan: トランプは「この国の安寧のために一步も譲る」

ことは許されない

議員が大統領の勝ちを告げる



ジム・ジョーダン（共・オハイオ）が、トランプ大統領に、2020 選挙をバイデンに決して譲るなど呼び掛ける